

5月度木曜例会 (2017.05.11)

ゲスト名: Mr. Norm Boniface (Australia)

タイトル: " 'The Rise and Fall of Empires and what this meant for Australia' "

ノームさんの登場記録を遡ると (iinHP 例会記録より)、

2007/03/15 "Saying Sorry to the Stolen generations Is this enough for Australian Aborigines"

2008/02/02 "Avoidable Blindness in the 21st century-The Fred Hollows Foundation and its work with
australian aborigines"

2009/11/21 "A Brief Journey Through the Middle East with My Dad"

2011/05/21 "What you should know about it."

2012/04/05 "The Twilight Years:Aged Care in Australia"

2014/04/03 "Tony Abbott - Prime Minister of Australia"

2015/04/02 "Some Differences between Japanese and Australian-Gaijin notice these things!"

2016/05/12 "Some great personalities who have made an impact on Australia' s history"

ゲストと言うより、むしろ住人では?

ですから、ご本人の紹介は、其々の例会記録を見た方が宜しい
かと思えます。

歴史と言えば、本日は、過去に興きた各帝国の盛衰を述べられ
その延長線にある大英帝国の盛衰と母国オーストラリアを
織り交ぜた話です。

世界史に出現した数々の帝国の栄枯盛衰は皆さんもよく知っていますでしょう

"The empire on which the sun never sets" という英語の意味を私は誤解していました。
自然現象として "太陽の沈まない国" なんてあったらおかしいじゃないかと思っていたのですが、
世界中に領土があり、そのどこかがいつも昼間、従って、太陽が沈まない。成程、納得。

16世紀、神聖ローマ帝国の皇帝でもあったスペイン帝国皇帝チャールズ5世の頃、

"The empire on which the sun never sets" と称されたようです。古くは、

世界

日本、その他の関係記事

-
- ・ アッシリア帝国 (2500BC ~ 600BC)
 - ・ ヒッタイト帝国 (1600BC ~ 1180BC)
 - ・ フェニキア帝国 (1500BC ~ 540BC)
 - ・ ペルシャ帝国 (550BC ~ 330BC) 縄文時代
480BC 東インドにて仏教発祥
 - ・ ローマ帝国 (27BC ~ 476AD) 弥生時代
 - ・ ビザンチン帝国 (330AD ~ 1475AD) 飛鳥時代 552AD 日本への仏教伝来
 - ・ モンゴル帝国 (1200AD ~) 元寇
 - ・ 神聖ローマ帝国 (800AD ~ 1806AD) 関ヶ原の戦い・徳川時代
 - ・ 他の近代帝国国家
ムガル帝国、インカ帝国、オスマントルコ、ナポレオン、ロシア、ドイツ



- ・ スペイン (492 ~ 1975) アフリカ、南米、フィリピンへ拡大
- ・ ポルトガル (1415 ~ 2002) 資源を求めて太平洋方面で貿易
- ・ オランダ (1595 ~ 1975) 徳川時代、ポルトガルは日本と交易
- ・ アメリカ
- ・ 日本 大東亜共栄圏 (中国大陸～東南アジア)

世界の歴史をこのように纏めておられました。

9世紀、アルフレッド大王から始まった英国とケネス1世が始めたスコットランドが合併した後、以降12名の君主が君臨しました。ドイツ君主とも血縁関係にあったようですが第一次世界大戦では、互いに反目したのです。

大英帝国はアジア(インド・中国)へも目を向け東インド会社がそれです。当時、世界の貿易量の50%にも達し、交易品は綿花・絹・藍・染料・硝石・茶・アヘンでした。

中国においては、列国(英国・ドイツ・ロシア・フランス・日本)が清朝中国を分割しました。

英国はインドからアヘンを中国に運び、絹・磁器・茶と交易したのですが清朝中国ではアヘンは違法でありこれを巡り2度のアヘン戦争が起き、香港を分捕ったのです。

コロンブスが大西洋を横断してアメリカを発見したのは1492年です。

1526年、ポルトガルはアフリカからアメリカへの奴隷貿易を始め他の国々もこれに倣ったのです。

アメリカにおける英国の最初の入植地はジェームスタウン・ヴァージニア、後にメリーランドで産物はタバコ・米・綿花・藍。生産を担ったのがアフリカからの奴隷と英本国からの犯罪者達であった。アメリカは犯罪者たちの流刑地だったのです。

18世紀、ビクトリア女王の治世のもと、工業・文化・政治・科学・軍事において進展した英帝国は大拡張をなしたのですが、それと共に犯罪者も増加していきました。

帝国の拡大と犯罪の増加という状況下で、アメリカの独立戦争後は流刑地として利用できなくなった事もあり、オーストラリアを植民地開発の任務を負わせ流刑植民地として扱ったのです。

オーストラリアへの白人入植の始まりでした。(1788/1/26)

先住者アボリジニからすれば侵略された日となった。

航海での遭難、入植地での飢饉等で沢山の人が亡くなりましたが、それを上回るアイルランドからの移民がありました。

1851年5月、入植地であるニューサウスウェールズ・シドニーの西で金が発見され、幸運を求め多くの移民が来ましたが成功者は多くなかった。

第一次世界大戦(1914~1918)頃には、英国は、アフリカ・アジア・アメリカに支配地に置き、広大な大英帝国を築きました。

第2次世界大戦後は、ナショナリズムの台頭で植民地は次々と独立していきました。

インド：1947年、イスラエル：1948年、ガーナ：1958年、マレーシア：1957年、香港返還1997年 等々、

その結果、イギリスと植民地であった独立の主権国家からなる緩やかな国家連合が、“英連邦”と称されるようになったのです。

英連邦の一員であるオーストラリアとニュージーランドの国旗はよく似ていますが、

オーストラリア国旗：ユニオンジャックの下の大きな星は”コモンウェルズ・スター”と言われ

オーストラリアの 6 州と特別地域 2 を表している、右側の 5 つは南十字星であり、南半球に位置することを意味しているそうです。

ニュージーランド国旗ではユニオンジャックの下に大きな星はありません。この違いをノームさんは強調していました（誇りを持っているように見受けました）。

第二次大戦後、

オーストラリアは防衛上また交易上の観点から米国に近づきましたが、今尚、母なる国、英連邦に留まっているのです。

心の故郷は英連邦にあるにせよ、移民で成り立つオーストラリアは白豪主義を捨て、人種差別禁止法を成立させ多様な民族・言葉を認め、国の建設を目指しています。同時に、先住民への配慮も忘れていません。

帝国が興き、そして、沈んだとは言え、

残った遺産があります（広い地域で英語が通用する事・共通のスポーツ、例えばクリケット等々）

- ・ 多様な文化の許容
- ・ 美しい自然。
- ・ スポーツにおける人々の交わり がオーストラリアなのです。

講演の後には情報交換があり、

Yさんからは、英国の行ったアヘン貿易に絡み、茨木市の福井地区近辺でケシの栽培が行われていた事。

Oさんからは、オーストラリアの選挙の仕組み（選挙に参加しないと罰金）に感心された事。

等がありました。